



尾崎広道
自由クラブ

ボートレース蒲郡駐車場内に
存する鉄骨平屋建て建物

問 熱中症対策で改修する予定があるか。

答 この建物には冷房設備を設置しており、利用している警備員にも問題ないと確認している。そのため、現在、この建物の改修は計画していない。

問 職員の事務所と警備員の休憩室との待遇の違いは、法に違反しないか。

答 令和7年6月1日施行の改正労働安全衛生規則の中で、熱中症対策が義務づけられたが、利用者の温熱環境は、本場事務室と大きく相違しないため、問題は無いと判断した。

今後、委託先事業者から、改善の要望等があった場合は、必要に応じて、対策を検討していく。

かたはら児童館について

問 かたはら児童館では、「涼みん」対象施設として、どのスペースを開放し、またどこで食事を取るかを伺う。

答 開放スペースは、和室奥の庭に面した縁側を案内し、そこで飲料を取ってもらうことができる。また食事は、館内中央のホールや、事務所の一角を利用してもらっている。

問 スペースが狭いため、移設や増築の計画はあるか。

答 現在、児童館の移転や増床の計画はなく、引き続き適切に管理していく。



かたはら児童館



日恵野佳代
無会派・
日本共産党

物価高騰から市民の暮らしを守るために

問 米の生産量は令和4年、5年ともに需要を下回り備蓄米もほぼ枯渇している。全国では、お米券の配布の動きが広がっている。市もお米券を世帯人数に応じ配布してはどうか。

答 国の交付金を活用し、お米券を配布する自治体があることは承知している。本市では、これまでに国の交付金を活用し水道基本料金の無償化等を実施してきた。今後も効果的な支援策を検討したい。

安心して介護を受けられるまちへ

問 ケアマネージャーが不足し、他市町から応援にきてもらっている。このままでは介護の利用が困難である。ケアマネージャーの平均年齢や担当人数などの把握はしているのか。また研修費の全額補助など確保策が必要ではないか。

答 平均年齢等の詳細は把握していない。東三河広域連合による研修費の一部補助など取組を継続していく。

問 物価高騰や報酬引下げで訪問介護事業所の経営が厳しくなっている。職員も集まらずヘルパーの平均年齢が70歳前後のところもあると聞く。市や東三河広域連合による直接支援を求めているどうか。

答 市での独自支援は考えていない。国への要望を東三河広域連合が行っている。



新実祥悟
市政クラブ

犯罪被害者等支援条例の制定について

問 他市町の条例制定状況について伺う。

答 令和7年4月1日時点で、県内では16市町で制定されているが、東三河で制定されている自治体はない。

問 他市町の条例の内容及び具体的な施策について伺う。

答 他市町の条例は、目的、定義、基本理念、市・市民・事業者の責務など、統一的な規定に加え、相談及び情報の提供、経済的負担の軽減、日常生活の支援、居住の安定、心身に受けた被害の回復、広報及び啓発、人材育成など、様々な支援に関する根拠規定がある。

行政サービスの支援内容は自治体ごとに異なっているが、支援金のほかに、公営住宅

の優先入居や一時的な提供、精神医療の支援、ホームヘルプ、配食などの取組がある。

問 本市における犯罪被害者等支援条例制定の可能性や課題についての見解を伺う。

答 県内では、条例の有無に関わらず、全ての市町村に総合的対応窓口が設置されており、相談体制を整えて、福祉、医療など、既存のサービスを漏れなく提供するため、関係部署と連携し、ワンストップで対応していくことが重要だと考えている。本市では、これら相談体制の構築に加え、条例制定に向けて、引き続き検討を進める。

